

# 北見赤十字病院

- ・ 医師の働き方改革の現状
- ・ 連携推進とハラスメントのない病院を目指して



# 病院の概要

開設年月日：1935年11月10日

※ 日本赤十字社北海道支部野付牛療院（診療科6科、病床62床）

※ 1943年1月 北見赤十字病院へ改称

許可病床：524床（一般482床、精神40床、感染2床）

※1996年775床より、2002年695床（精神67削減）、2014年559床（一般121削減）

標榜科目：26科

駐車場台数：400台

（2025年9月現在）

2018年度から指定管理制度により隣接する北海道立北見病院（一般70床）と共に、オホーツク三次医療圏における総合的な医療機能を確保・充実させるため、2病院一体の運営が始まった。

# 職員現況 （職員1,301名+派遣・委託239名）

**医師130名（歯科医師3名、初期臨床研修医19名）**

保健師7名、助産師38名、看護師610名、准看護14名、病棟クランク14名、看護助手67名

薬剤師29名、臨床検査技師47名、臨床工学技士14名、診療放射線技師35名、理学療法士23名、作業療法士13名、言語聴覚士6名

管理栄養士9名、視能訓練士6名、公認心理師4名

歯科衛生士6名、技術員他37名、保育士9名

事務職員183名（**医師事務作業補助者50名**）

（2025年9月現在、道立北見病院を含む）



北見赤十字病院 本館

北見赤十字病院 北館

連絡通路

連絡通路

北海道立北見病院





# 医師の働き方改革について

# 勤怠管理に関して

STORK NaVi （テック情報株式会社）

2019年10月から導入



# 医師の働き方改革推進検討委員会

- 2022年8月に設立（毎月1回開催）
- 構成委員（14名）
  - 内科系副院長（委員長：働き方改革担当）
  - 内科系副院長      医局長（外科系部長）
  - 外科部長      外科系部長      2名
  - 内科系副部長      2名      外科系医師
  - 産業医      事務局（人事課）
  - 道立北見病院（院長・部長・事務担当）
- 北海道医療勤務環境改善支援センターの支援

# 医師の働き方改革推進検討委員会

- 自己研鑽の労働時間該当性の整理

委員会案を診療部長で検討

全医師に伝達 (2022年12月)



2023年1月運用を開始し、適宜改善



チーム医療を推進した結果

全ての診療科でA水準が可能と判断して

2024年4月から運用を開始。



# 北見赤十字病院・道立北見病院の医師の勤務 時間外における労働時間の取扱いについて

時間外申請は事前命令が基本的な原則ではありますが、遅くとも翌日までに申請下さいますよう、お願いいたします。

労働時間に該当するもの（所定時間内に収める工夫が必要）		原則：所定時間内に収める最大限の努力をお願いします
A 診療に関するもの		【各科で目安を設定する際の注意点】
1	病棟回診	・病棟からの要請がない自発的な出勤は、業務ではありません。 当番日以外の患者管理・病棟業務は、控えて下さいますよう、お願いいたします。
2	予定手術の延長、緊急手術（必要な人員のみ）	・手術中に終業時間（日勤は17:05）を迎えた場合、その手術に必要な人員のみ時間外勤務となります。 ・その手術の必要人員には入っていない医師が見学をしている場合は、自己研鑽に当たるため、時間外勤務には該当しません。
3	カルテ記録	・医師は、診療をしたときは、遅滞なく診療に関する事項を診療録に記載しなければならないため（医師法第24条1項）、 時間内に起きたことは時間内に行ってください（原則としてです。例外：時間内に行おうとしたが急患で救外に呼ばれた）。
4	サマリー作成	・時間内に起きたことは時間内に行ってください。
5	外来の予習（外来1日につき1時間を目安）	・外来の予習についても準備行為に含みますが、出来るだけ所定勤務時間内に収める工夫をお願いします。 基本的には自己研鑽です。
6	外来等の準備	・例として、手術室の準備、手術に向けて麻酔科医への相談、上級医が見られるよう画像の準備、エコーなど器材の借用があります
7	オーダーチェック	
8	診療上必要不可欠な情報収集	・時間外に情報収集のため上級医へ相談した場合は、相談を受けた上級医も時間外労働となります。
9	診療上必要不可欠なその他業務	・システムの変更に伴う対応やマニュアル作成（院内でしかできない業務に限ります）

# 北見赤十字病院・道立北見病院の医師の勤務 時間外における労働時間の取扱いについて

時間外申請は事前命令が基本的な原則ではありますが、遅くとも翌日までに申請下さいますよう、お願いいたします。

**労働時間に該当するもの**（所定時間内に収める工夫が必要） **原則：所定時間内に収める最大限の努力をお願いします**

B 会議・打合せ（基本は所定時間内に行う）		
1	必須出席者である会議・委員会	
2	参加必須の勉強会・研修会・カンファレンス・グループカンファレンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間外に及ぶ場合は開始時間と終了時間を決めて行うようお願いします。</li> <li>・医療安全研修会や感染対策研修会、認知症ケアサポート研修、放射線安全管理研修などの参加が必須である研修会につきましては、労働時間に該当します。</li> </ul>
3	その他業務に必須の打ち合わせ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他職種との業務の打ち合わせ、調整など</li> <li>・時間外に及ぶ場合は開始時間と終了時間を決めて行うようお願いします。</li> </ul>
C 研究・講演その他		
1	院内勉強会・研修会等の講演	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講演等については、奨励される等の事情があっても、原則上司の命令で行うものではありません。</li> <li>・院内研修会等で演者・講師・座長等をした場合は、開催時間が労働時間になります。準備は原則所定時間内に行って下さい。</li> </ul>

# 北見赤十字病院・道立北見病院の医師の勤務時間外における労働時間の取扱いについて

時間外申請は事前命令が基本的な原則ではありますが、遅くとも翌日までに申請下さいますよう、お願いいたします。

## 労働時間に該当しないもの

### A 休憩・休息

1	食事
2	睡眠
3	外出
4	インターネットの閲覧

### B 自己研鑽

1	自己学習
2	院内における自主的な症例見学
3	参加任意の勉強会・研修会・カンファレンス・BFミーティングなど
4	抄読会・CPC・病理オープンカンファレンス
5	病棟からの要請がない患者管理・病棟業務



# 北見赤十字病院・道立北見病院の医師の勤務 時間外における労働時間の取扱いについて

時間外申請は事前命令が基本的な原則ではありますが、遅くとも翌日までに申請下さいますよう、お願いいたします。

## 労働時間に該当しないもの

### C 研究・講演その他

- |   |                                |
|---|--------------------------------|
| 1 | 学会発表の準備（原則上司の命令で行うものではありません）   |
| 2 | 上司の命令に基づかない外部講演等の準備            |
| 3 | 研究活動・論文執筆（原則上司の命令で行うものではありません） |

2022.11.15.医師の働き方改革推進検討委員会作成

## 2024年度および2025年度（9月末日まで） の現状

- 2024年度  
月100時間を超過した脳神経外科医1名に  
産業医の面談を実施し、年960時間以内の  
A水準をクリア
- 2025年度（9月末日まで）  
月100時間を超過した外科医2名に産業医  
面談を実施し、年960時間以内のA水準をク  
リアできる見込み

# 臨床検査課：働き方改革の取り組み

## 現状調査・情報収集

- 業務アンケート（年1回） 個人面談（年1回）
- 業務分析（毎月） 各部門毎・時間帯別・曜日別
- スタッフからの改善提案の推進

## 現状把握・課題抽出

- ISO維持管理が大変（業務量の偏り・審査への精神的苦痛）
- 病棟採血・健診業務の定時帰宅ができない（サービス残業）
- 休務者が多い日や検査が重なる時は対応困難（科内協力体制）
- 部門の時間帯・曜日で業務量の偏り大きく不公平（業務均衡化）
- オンコール待機が多すぎて気が休まらない（道立含む）



# 臨床検査課：働き方改革の取り組み

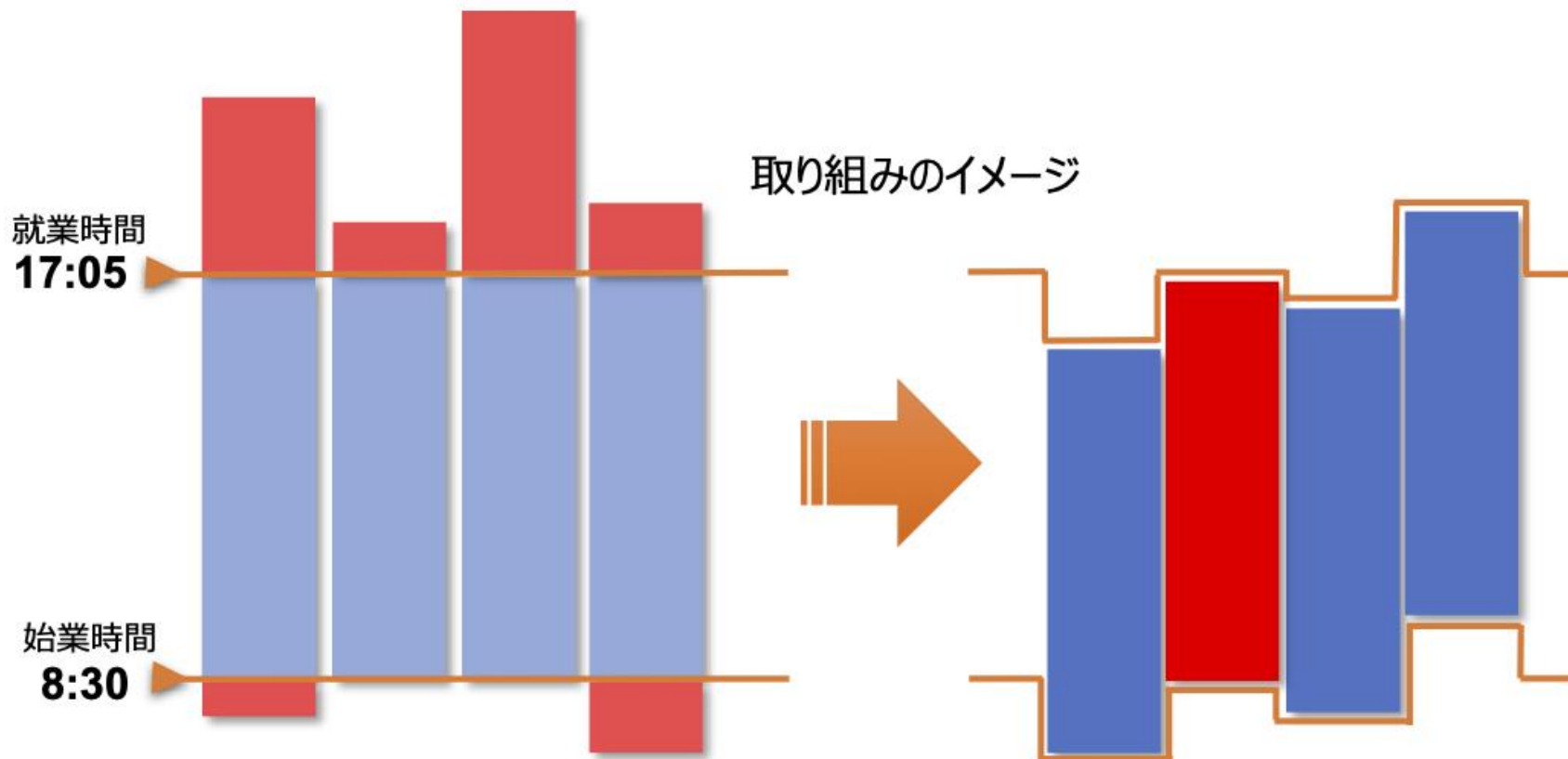
- 時間外業務を就業時間内にシフト
- シフト不可な業務は就業時間をシフト

- 時間外と時間内の業務を調査・分析
- 時間内業務の効率化（業務効率化・人員効率化）
  - ・ 継続的改善（運用や業務所轄見直し・DX推進）
  - ・ 各課（道立含）協力体制の強化（ジェネラリスト・標準化）
- 時間外業務（定型外業務）の効率化と人選（適材適所）
- 就業時間の見直し（早出時間変更と遅出勤務の新設）
- 意識改革（時間内に業務を完結する・時間外はしっかり申請）
- ISOのため→病院・患者のため、審査指摘は良い事（意識改革）  
良い事もやりすぎは逆効果、本当に必要な事を選抜（やめる改善）



# 臨床検査課：働き方改革の取り組み

## 【ルーチン業務】の取り組み



# 臨床検査課：働き方改革の取り組み

## 【日当直・オンコール業務】の取り組み

### 【オンコール】



#### 【Oncall】日赤7名+道立1名 → 2病院1名体制

- オンコール業務調査（内容・頻度）
- オンコール業務の効率化・標準化・マニュアル化
- 若手希望者にオンコール業務教育（若手OCチーム）
- 2病院の運用統一（検査法・試薬備品・システム）
- **365日分の待機手当削減**

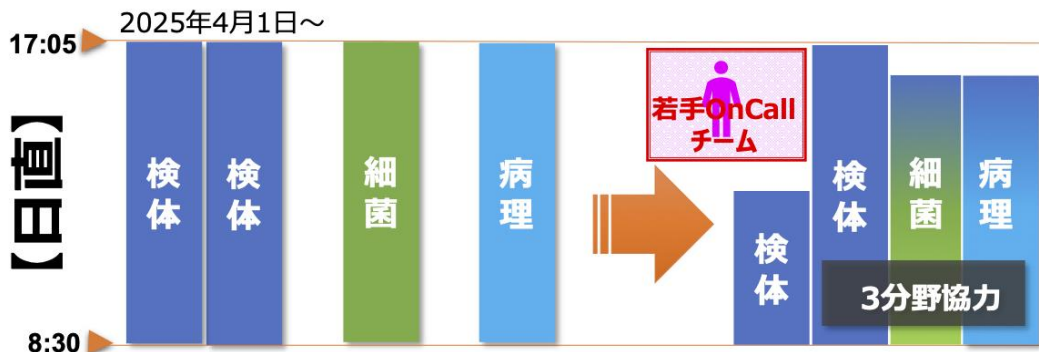
### 【当直】



#### 【当直】当直2名（20:00まで）→ 当直1名体制

- 当直業務調査（時間帯別・曜日別）
- 当直業務の効率化・標準化とオンコール体制整備
- **365日×3h=1,095h（91h/月）削減**

### 【日直】



#### 【日直】検体検査2名 → 1.5名体制

- 日直業務調査（時間帯別）
- 日直体制変更（担当関係なく2名→検体1名+他1名）
- 多忙時は、検体・細菌・病理の3分野が協力
- 細菌・病理は業務終了後は帰宅可、帰宅後は検体
- 日直者で対応困難時は、オンコール利用
- **125日×4h=500h（42h/月）削減**

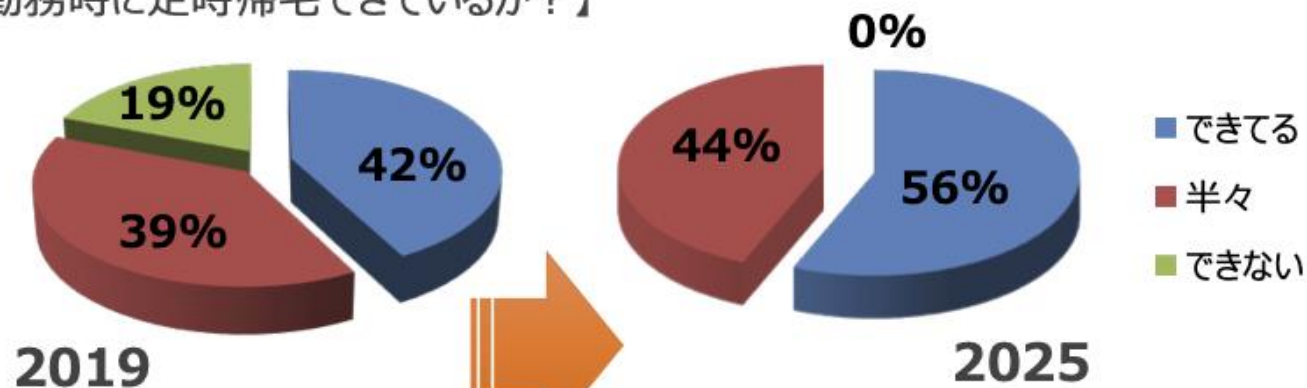


# 臨床検査課：働き方改革の取り組み

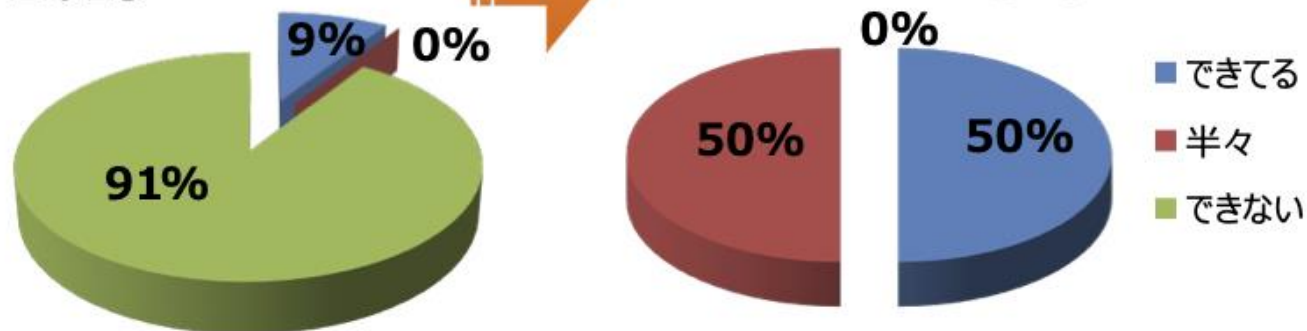
## 業務アンケートの推移

業務アンケート【早出勤務時に定時帰宅できているか？】

### 【病棟採血】

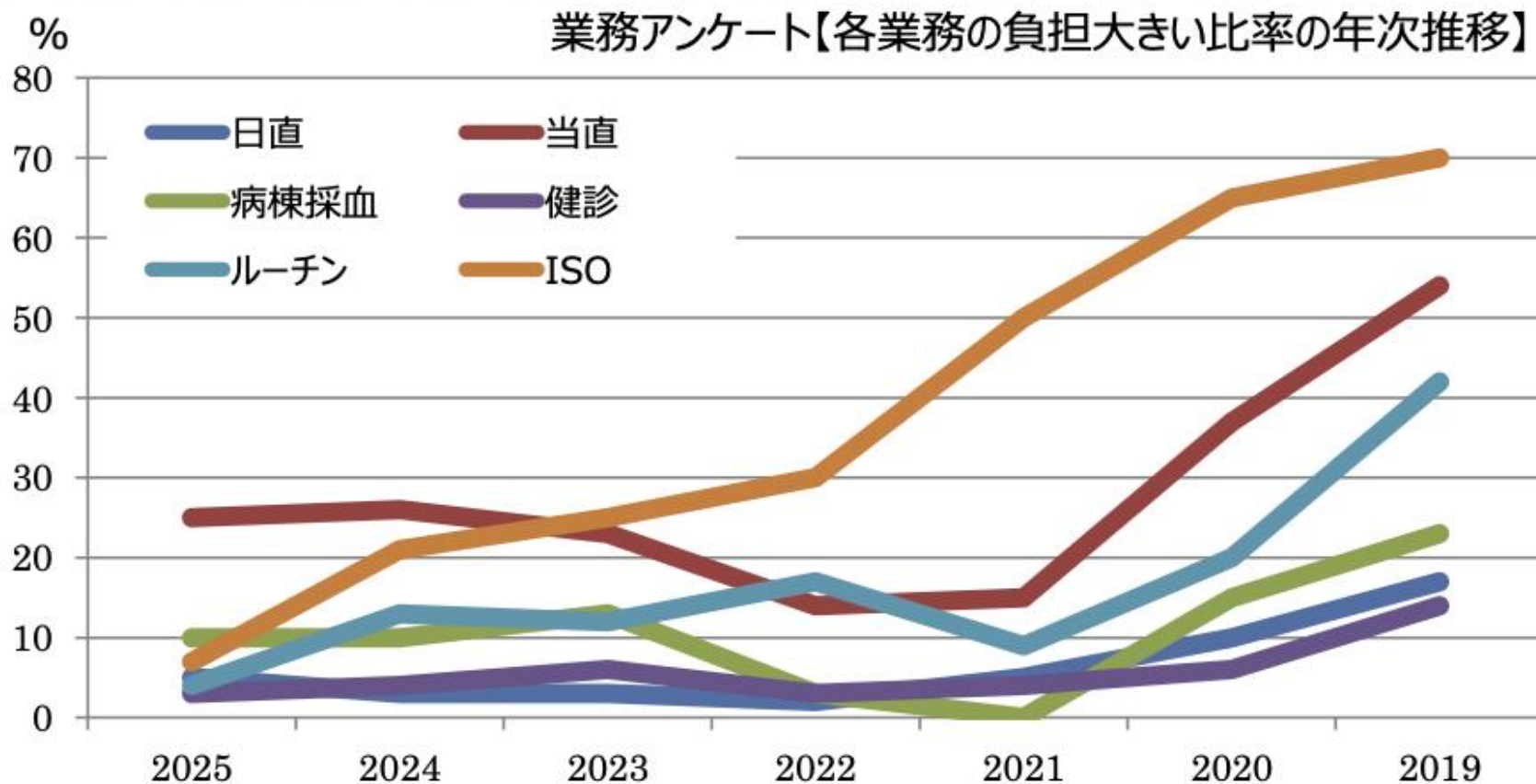


### 【健診業務】



# 臨床検査課：働き方改革の取り組み

## 業務アンケートの推進



# 臨床検査課：働き方改革の取り組み

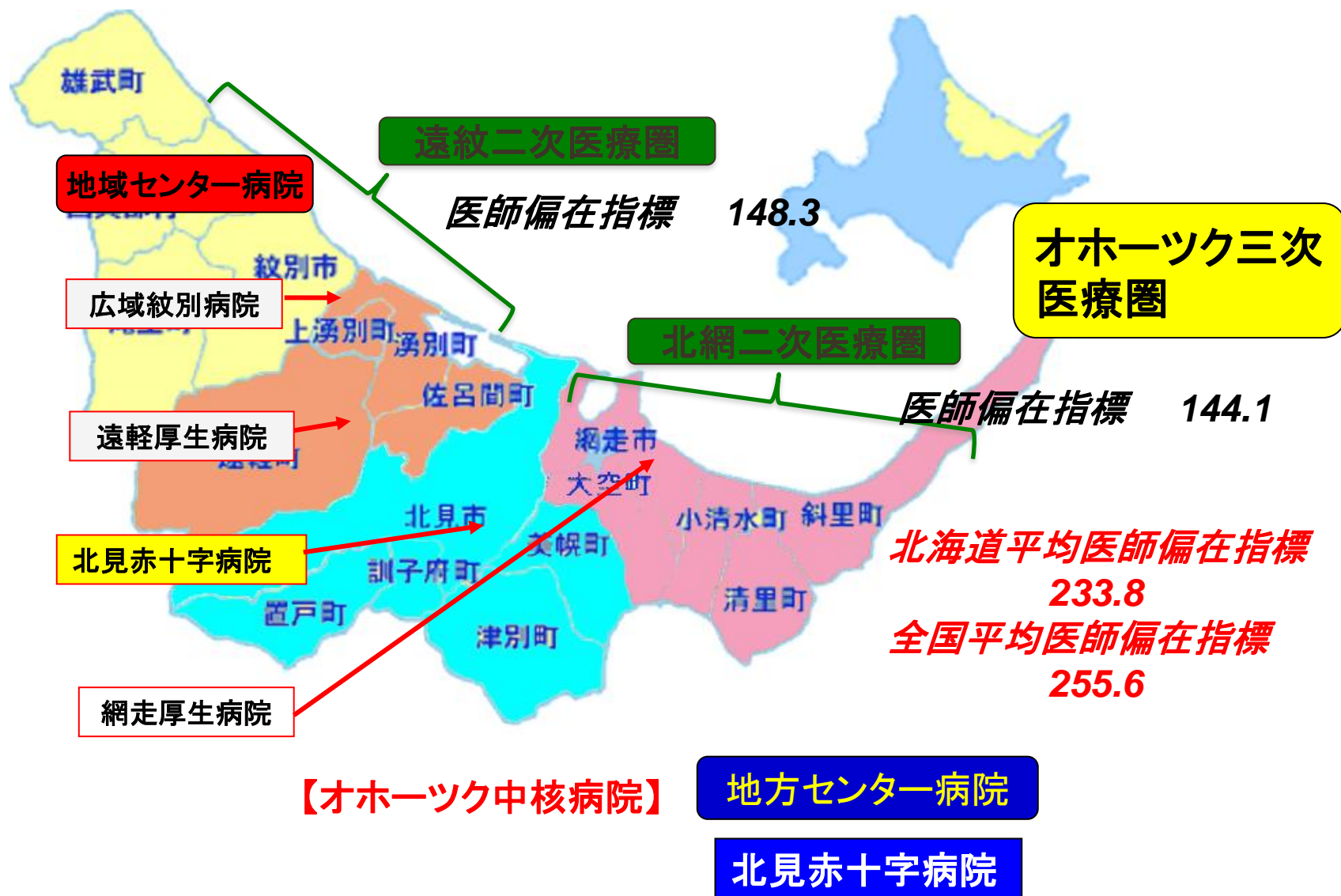
臨床検査科 時間外労働時間 年次推移





# 連携推進とハラスメントのない 病院を目指して

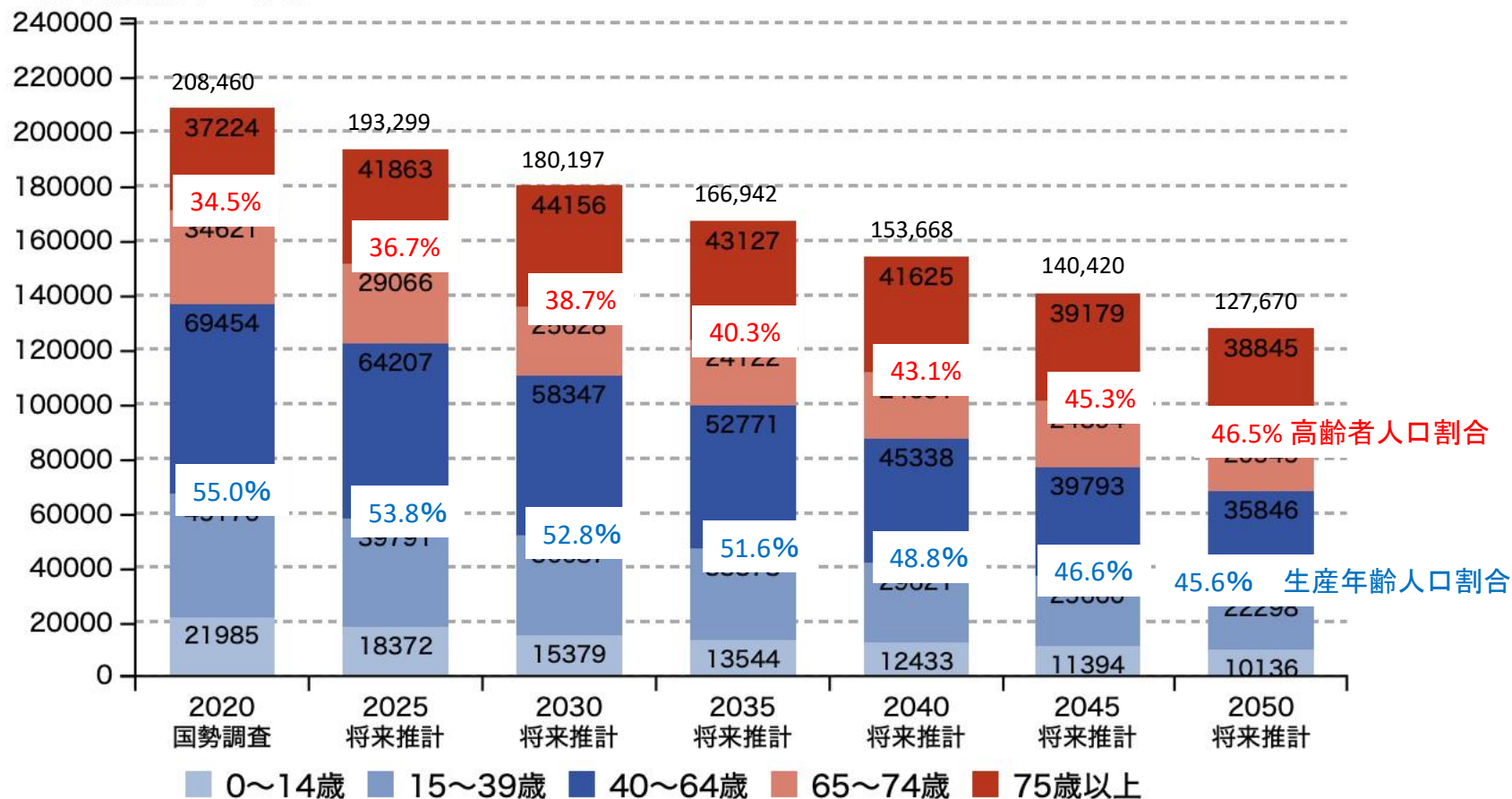




- 2024年度の診療報酬改定は、医療従事者が充足している都会と不足している地方に一律の医療提供体制を求めている。
- 医療従事者の偏在対策が未解決のまま押し進めた内容で、当医療圏においても解決の糸口が見出せていない。
- 上記の解決策として取り組んでいる**連携推進**と、医療従事者確保に向けた安全な職場環境としての**ハラスメントのない病院**を目指した経緯に関して報告する。

# 北網医療圏将来推人口

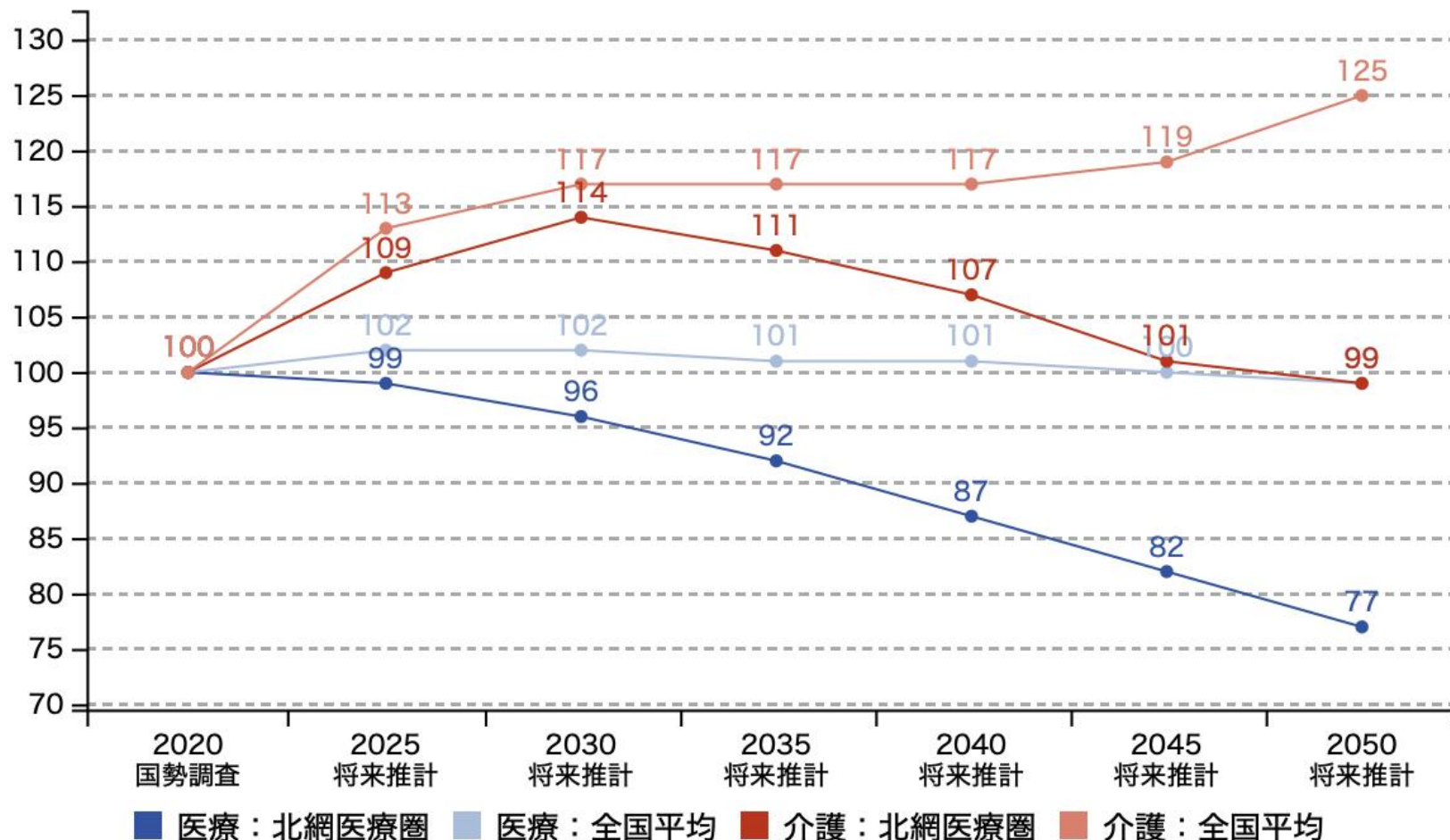
※ 将来推計人口(人)





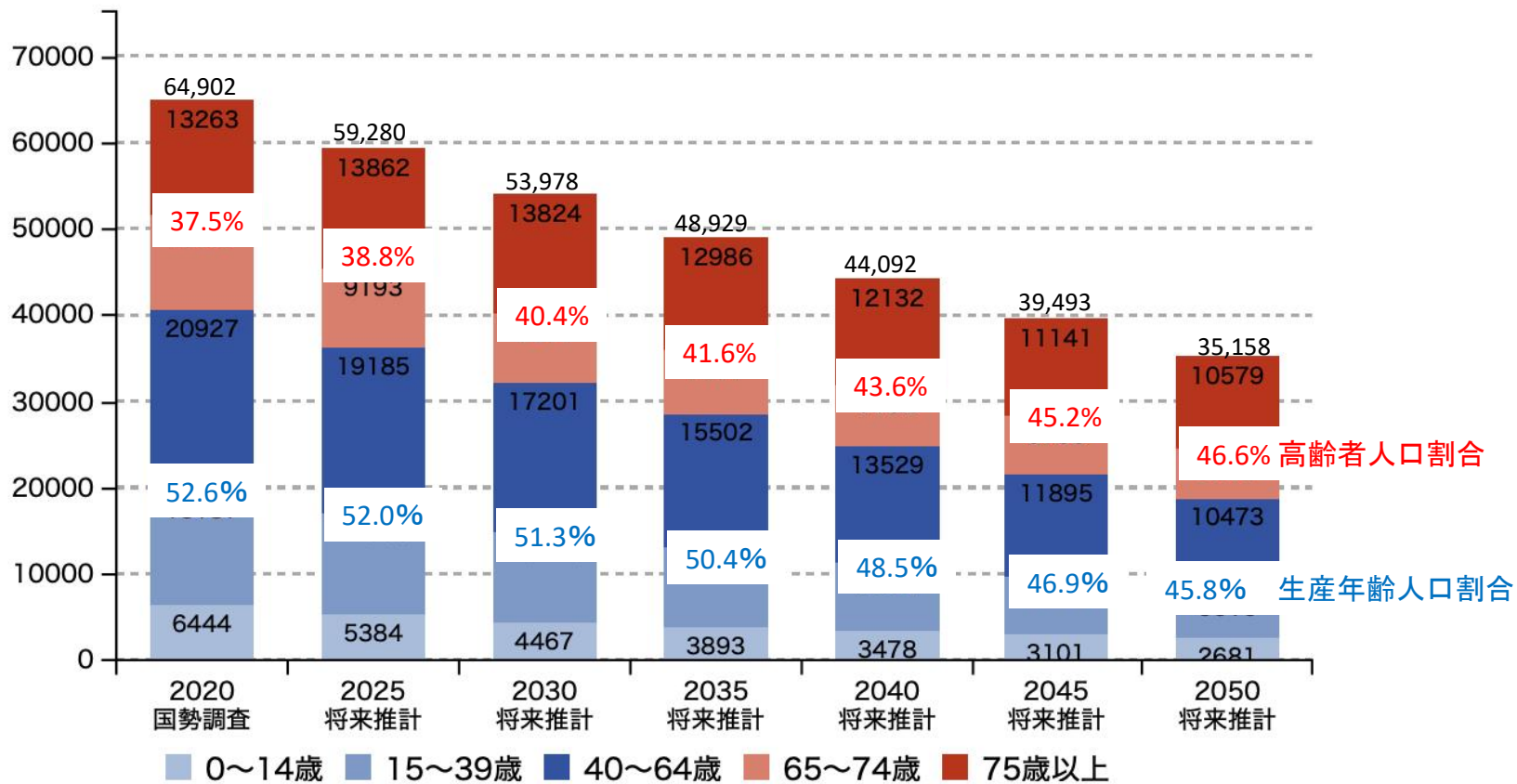
# 北網医療圏医療介護需要予測指数

❖ 医療介護需要予測指数(2020年実績=100)



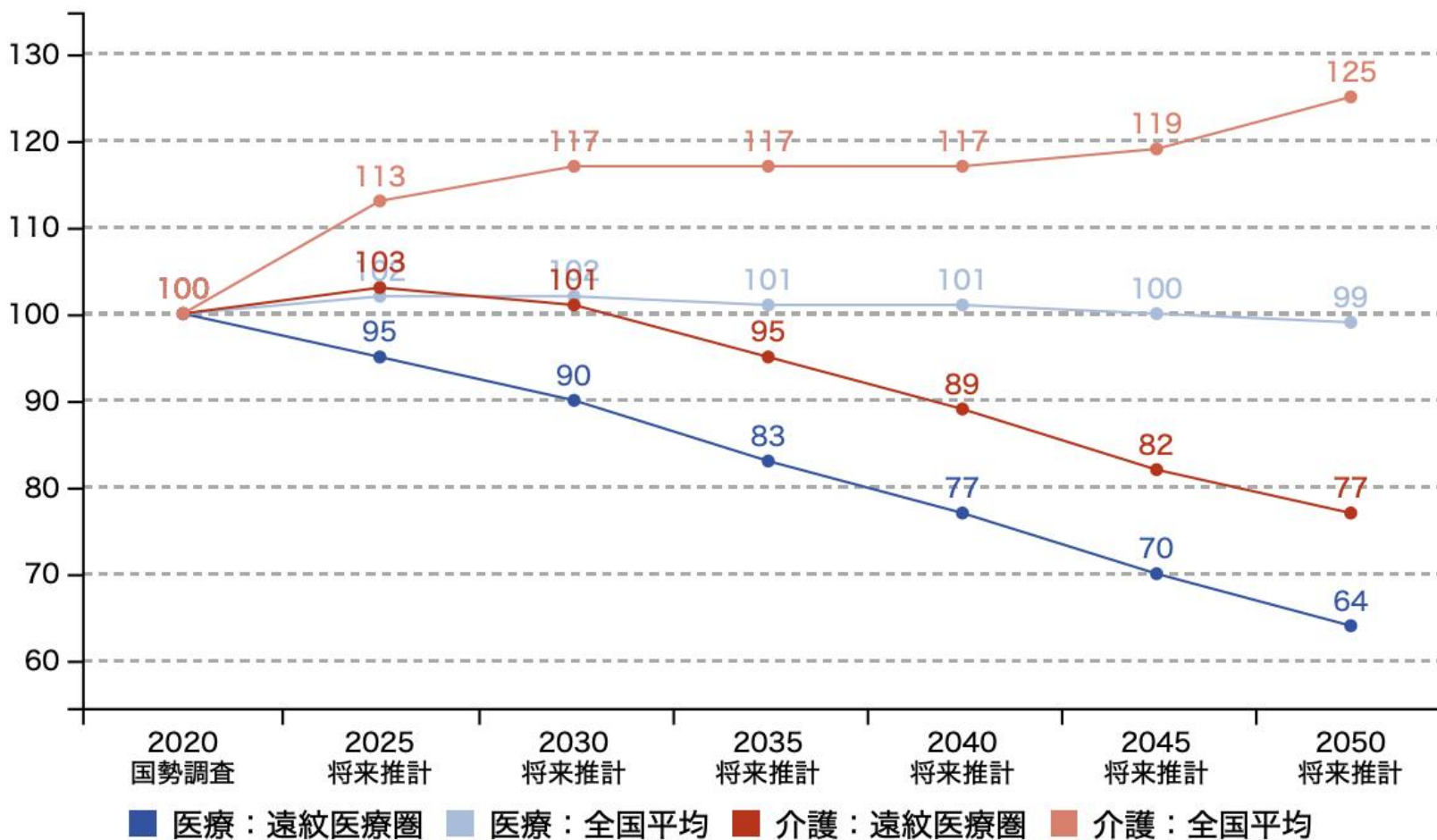
# 遠紋医療圏将来推計人口

✦ 将来推計人口(人)



# 遠紋医療圏医療介護需要予測指数

医療介護需要予測指数(2020年実績=100)



両二次医療圏とも医師少数区域と指定。

看護師、理学療法士、作業療法士、栄養士も全道平均を下回っている。

他の地域センター病院では、常勤医の減少と出張医での対応、医療従事者不足から病棟の休床を余儀なくされている。

開業医数も少なく、新規開業医の減少ならびに高齢化による閉院。経営難から倒産、売却譲度する病院もある。



**少子高齢化に伴う医療従事者不足  
広大な面積における医療・介護・福祉・行政の連携  
を含めた医療提供体制が課題。**



# 患者支援センターによる連携推進

患者中心の医療を



援センターを稼働

# 日赤・道立ネットについて

## (北見赤十字病院・北海道立北見病院 地域連携ネットワーク)

### 2018.4 二病院一体運営

患者ID, 診察券は**別々**

お互いの電子カルテは**みることができない**

地域連携も**別々に実施**

### 2024.1 電子カルテシステムの統一

患者ID, 診察券は**共通**

お互いの電子カルテを**みることができる**

(患者情報の一元化)

地域連携も**一緒に実施**



**カルテと連動した地域包括ケアシステム(日赤・道立ネット)の運用開始**

北見赤十字病院、道立北見病院の電子カルテと連動

日々の診療データを一括で閲覧が可能



広報誌のマスコット  
「ほくちゃん」

# 北見赤十字病院と道立北見病院

相互に患者  
情報、カルテ  
情報、検査  
データ等を共有



シームレス  
に効率的で質  
の高い地域完  
結型医療提供  
体制構築が可  
能

## 患者IDの統一について

Japanese Red Cross  
Kitami Hospital

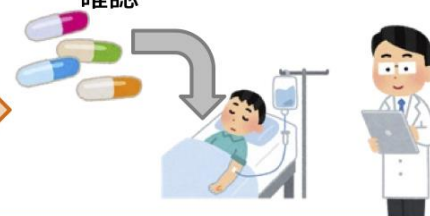
Hokkaido Prefectural  
Kitami Hospital



当院・道立病院で**同一の患者番号**を使用し、  
**診療録、検査データ等を共同利用する**

当院の専門医へ往診・診察依頼があった際、  
道立病院での検査結果を電子カルテで確認  
道立入院患者へ処方・検査等のオーダー指示を  
電子カルテに直接入力

道立病院医師は電子カルテで当  
院医師の診療内容や検査結果を  
確認



効率的な一体的運営による質の高い医療の提供、職員・患者双方の利便性を向上させる



# 北見赤十字病院・北海道立北見病院地域連携ネットワーク (通称：日赤・道立ネット)



日赤・道立ネットは利用登録いただいた医療機関が患者さんの同意のもと患者さんに関連した医療情報を安全なインターネット通信回線を通じて閲覧することができるシステムです

通常業務で使用しているパソコン（Google Chrome）で、VPN通信を経由した、データセンターで管理する医療情報を自院のカルテIDを使って参照いただけます。

## 北見赤十字病院



患者基本情報・入退院歴



処方



注射



検体検査結果

## 北海道立北見病院



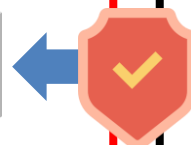
放射線・内視鏡等検査結果



検査レポート（放射線・エコー・内視鏡）

診療情報提供書

看護サマリ



自院の患者IDで  
閲覧可能

## 医療機関

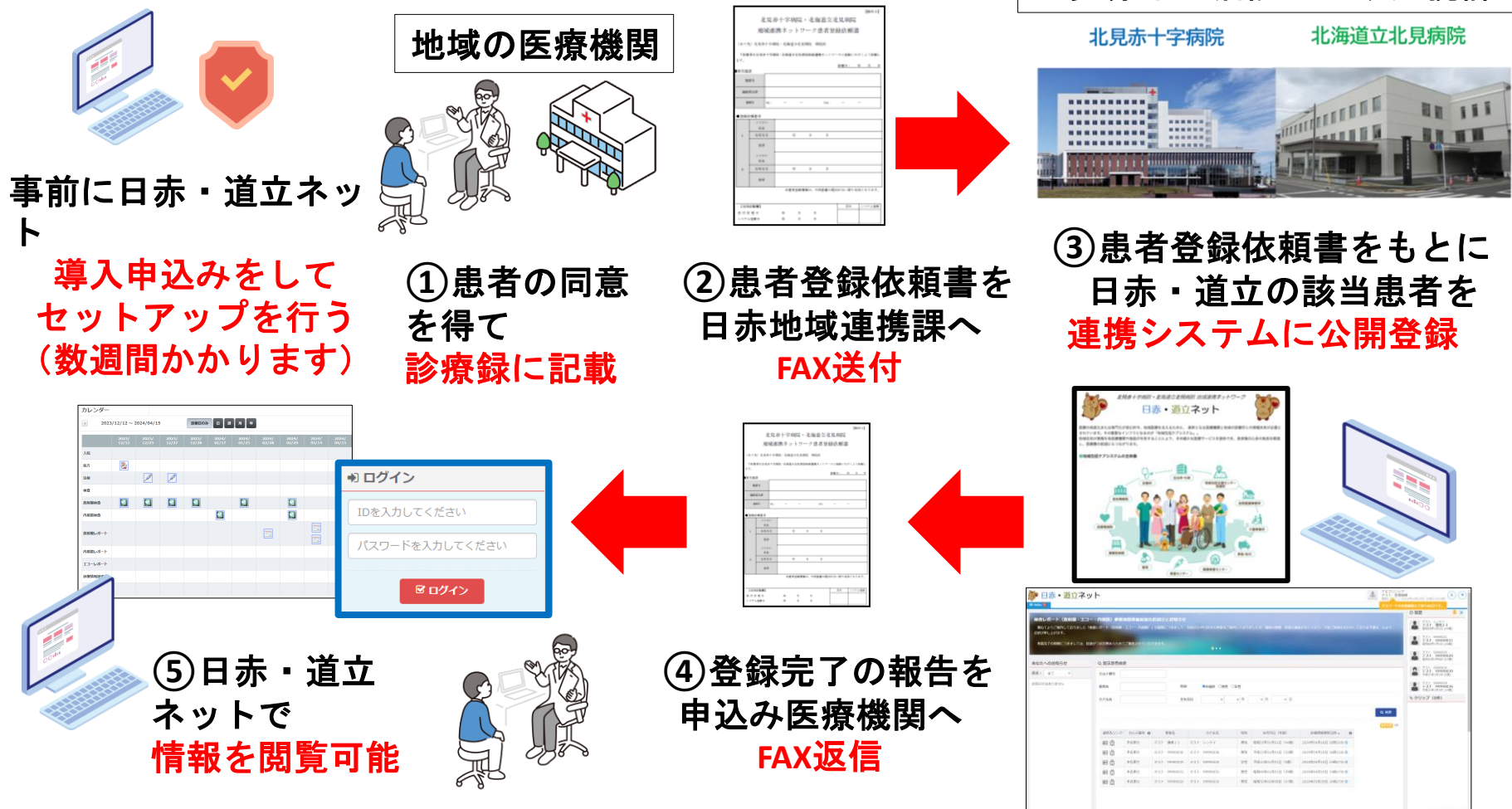




# 北見赤十字病院・北海道立北見病院地域連携ネットワーク (通称：日赤・道立ネット)



## データ公開の流れ



# 北見赤十字病院・北海道立北見病院地域連携ネットワーク (通称：日赤・道立ネット)



## 参照可能診療情報（北見赤十字病院・道立北見病院）

- ①患者基本情報
- ②入退院歴
- ③処方・注射
- ④検体検査結果
- ⑤放射線・内視鏡等検査結果
- ⑥検査レポート（放射線・エコー・内
- ⑦診療情報提供書
- ⑧看護サマリ

カレンダー		2023/12/12 ~ 2024/04/15									
		2023/12/12	2023/12/25	2023/12/27	2023/12/28	2024/01/17	2024/01/25	2024/02/28	2024/02/29	2024/03/14	2024/04/15
入院											
処方											
注射											
検査											
放射線検査											
内視鏡検査											
放射線レポート											
内視鏡レポート											
エコーレポート											
診療情報提供書											
看護サマリ											

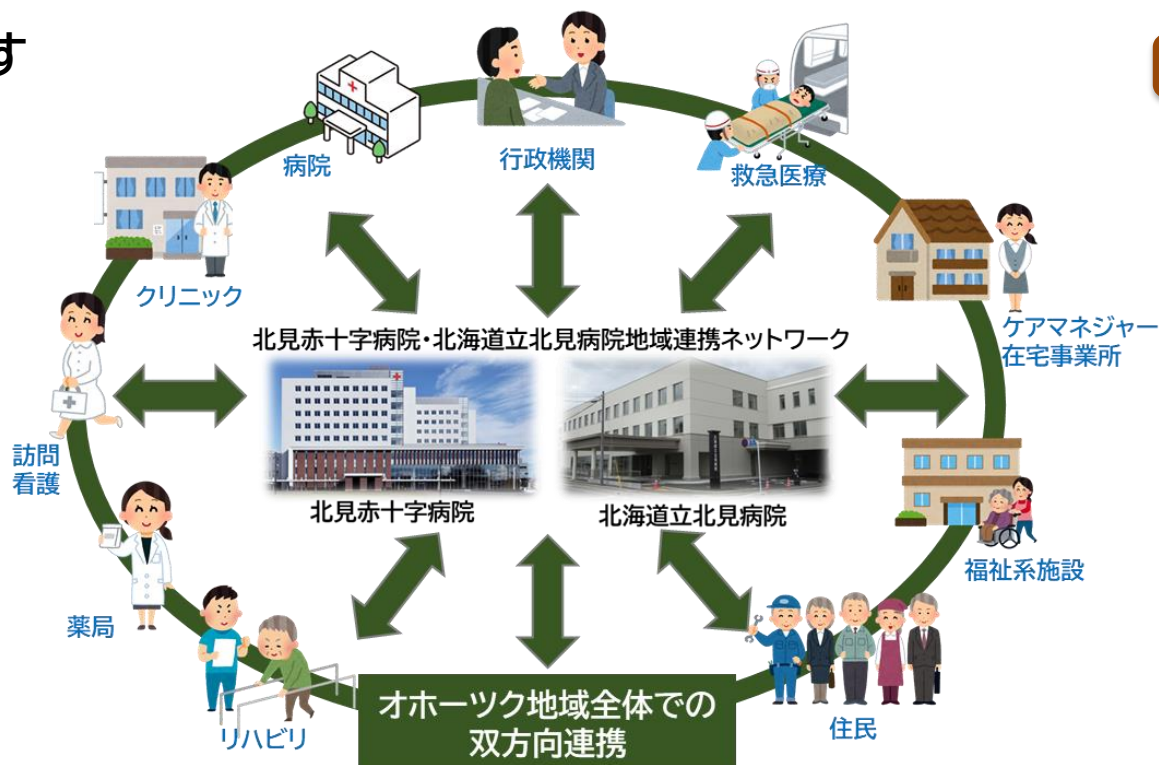
参照対象期間：①～④、⑥～⑧ 開示登録日から半年前  
⑤ 開示登録日から1年前





# 地域医療を支えるのは、医療・介護・福祉・行政との「連携力」

日赤・道立ネットは、北見赤十字病院と北海道立北見病院での診療内容や検査結果等を、かかりつけの医師や訪問看護、介護・福祉・行政関係者と情報共有することで、より安全で質の高い医療・介護・福祉を提供することを目的としたネットワークシステムです



## 住民・患者さんのメリット

- 医療費負担の軽減  
お薬や検査などの重複を避けることにつながります
- 診療情報活用の円滑化  
診療情報を共有することで、地元の医療機関を受診する際に正確な医療情報を活用できます
- 医療と介護の連携円滑化  
入院時や退院時、外来受診の情報を生活を支えてくれる在宅支援担当者が活用できます

[北見赤十字病院・北海道立北見病院地域連携ネットワーク 将来構想図]



# LINE WORKSの導入に関して

## LINE WORKS 導入の経緯

### 2019.06 スマートフォン試験導入

3G終了(2022)に向けて KDDIより提案あり

病院幹部・診療部長 で試験導入

「せっかくなら「アプリ」も導入しよう」

しかし、当初はあまり活用されず、、、

### 【選択理由】



- ・国内企業
- ・使い勝手がいい
- ・安価
- ・LINE 以外で

### 2020.02 COVID-19 北海道初クラスター

感染対策本部で有効に活用、、、とても便利。

### 2020.10 消化器内科・腫瘍内科 試験導入

医師スタッフ（スマホ）、外来・病棟・内視鏡センター（タブレット）

地域連携課（PC） 医師間・医師-部署関連スタッフで活用を開始。

# LINE WORKS

## LINE WORKS 導入～連携協定へ

### 2023.01 消化器内科・腫瘍内科 活用事例公開

業務改善・ワークシェアを実現 活用方法が注目  
LINEWORKS本社より取材を受け、HPにて公開

### 2023.03 全国WEB講演会で発表

### 2023.11 地域連携・災害協定に関する相談 開始

平時はもとより災害時にも対応できる地域連携体制

如何に構築するか！ 「コミュニケーション」の深化が必要！

### LINE WORKS社としては

主体が自治体の連携協定の実績はある。全国の病院など医療機関でもLINE WORKSの利用は進んでいるが、院内利用、あるいは病院と消防など限定的。

『病院主体での「地域との連携」を進める取り組み』はない。一緒にやりましょう。





2025.03.24

## LINE WORKS、北見赤十字病院と連携協定を締結

地域の医療機関どうしや介護・福祉施設との情報共有や、災害対応にLINE WORKSを活用

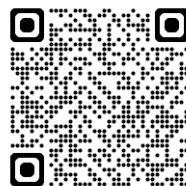
### 連携協定概要

#### 【目的】

本協定は、LINE WORKS株式会社が提供するコミュニケーションアプリ「LINE WORKS」を活用し、甲と乙が相互の連携と協働による医療現場のデジタル化の推進、より効果的で安全な医療サービスの提供に取り組み、患者サービスの向上および地域医療および地域の活性化に寄与することを目的とする。

#### 【連携事項】

1. 平時及び災害時の医療及び介護・福祉に関すること
2. 平時及び災害時の災害医療提供に関すること
3. 情報発信及び広報に関すること
4. 相談事業に関すること
5. 社会的課題の解決に関すること
6. その他、目的を達成するために必要な事項





## LINE WORKS 連携協定

### 2025.04 連携協定に基づく活動開始

1000アカウント・3年間無償貸与

如何に有効活用するか！

「LINEWORKS活用検討WG」の立ち上げ

- ・活用マニュアル、運用ガイドラインの作成
- ・プロジェクト単位で申請を受付し、アカウントを配布
- ・審査含めて、WGの会議自体も「LINE WORKS」上で行う
- ・関連資料も「LINE WORKS」フォルダに格納

プロジェクト拡大中





# LINE WORKS

## LINE WORKS 連携協定

**2025.09.10 活用アカウント数 330**

【院内】233

- ・診療部 診療科拡大中
- ・看護部 管理部門、師長会議、応援業務で活用
- ・各科外来部門etc.

【他医療機関】5

- ・消化器内科・腫瘍内科と北大出張医との連絡調整
- ・「救急下り搬送」調整への活用・・・準備中
- ・北見医師会と連携し、会員へのアカウント配布・・・協議中

【その他関係機関】92

- ・道内赤十字病院、北海道支部 災害訓練(8/20.21)で活用
- ・道内のDMAT担当者との連絡手段としての活用
- ・オホーツク網走マラソン(9/28)での救護班活動・・・使用予定
- ・斜網地域の災害時対応訓練・・・網走保健所と連携し使用準備中
- ・北見消防と当院救命救急センター間での情報共有・・・調整中 etc.



#活用事例

日本赤十字社北海道支部にてLINE WORKSを活用した研修会を実施！

2025年8月20日・21日の2日間で、日本赤十字社北海道支部にて「救護班主

2025.09.10



# LINE WORKS

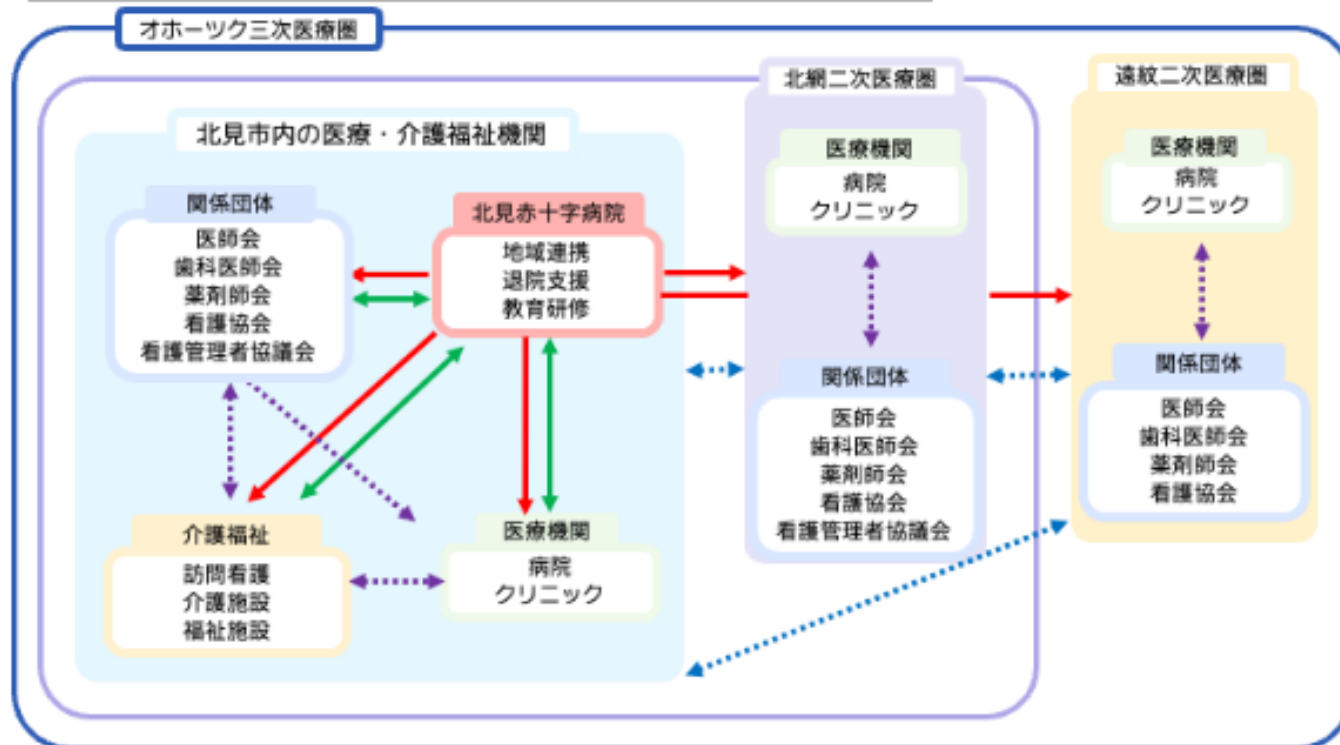
## LINE WORKS 連携協定 構想

### LINE WORKSを活用した地域連携・介護福祉ネットワーク構想



通常業務の情報共有ツールとして、LINE WORKSの活用を希望する  
医療・介護福祉・関係団体へアカウントを貸与する

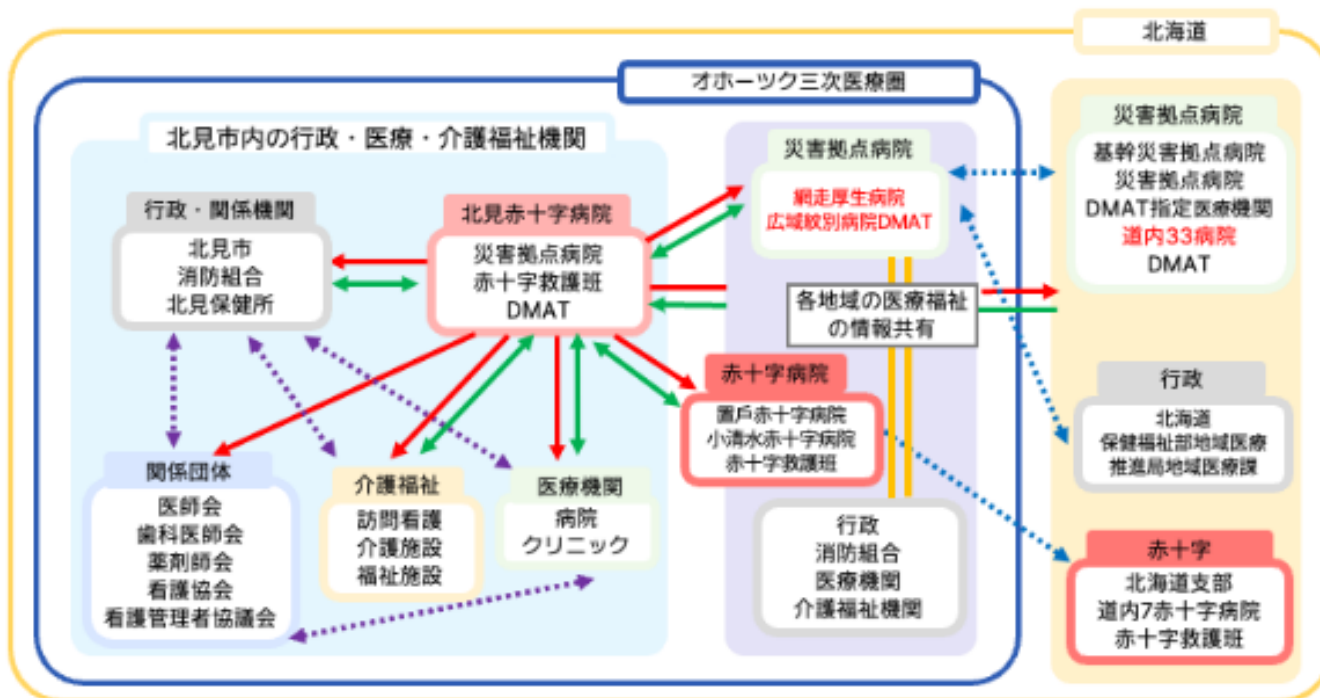
- ← アカウント貸与
- 業務連携・情報共有
- ↔ 地域内での業務連携・情報共有
- ↔ 地域を超える業務連携・情報共有



# LINE WORKS

## LINE WORKS 連携協定 構想

### LINE WORKSを活用した災害時医療福祉ネットワーク構想

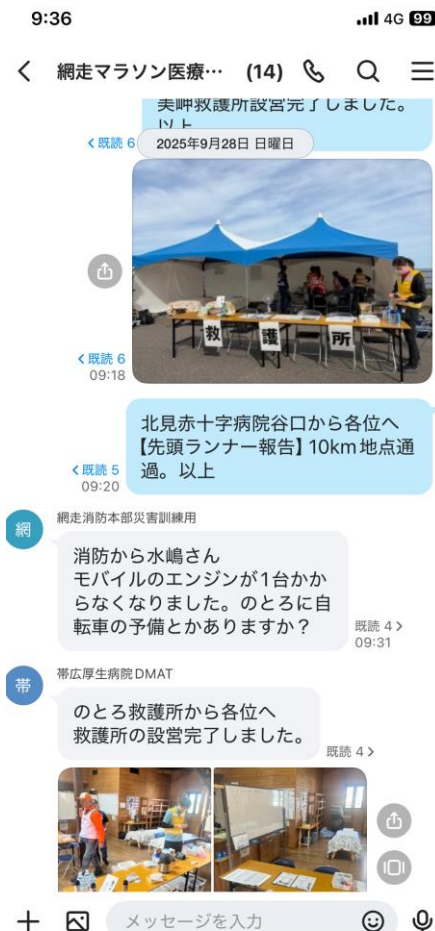


オホーツク三次医療圏内の災害拠点病院・赤十字病院との情報共有ネットワーク構築および道内の災害医療関係機関とのネットワークを構築する。  
LINE WORKSの活用を希望する災害拠点病院・DMAT指定医療機関・赤十字関係施設（支部・病院）や関係機関・団体へアカウントを貸与する。

アカウント貸与  
 業務連携・情報共有  
 地域内での業務連携・情報共有  
 地域を超える業務連携・情報共有

# LINE WORKS

## LINE WORKS 実用例(2025年9月28日 オホーツク網走マラソン)





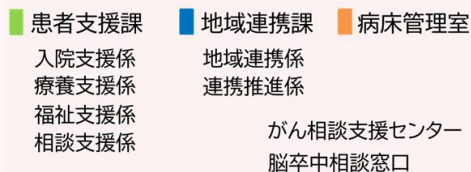
# 患者支援センター

## 多職種協同・業務効率化・地域（医療・介護・福祉・行政）との連携

### 患者支援センター（2022年10月 開設）

#### 基本方針

1. 患者さん中心の医療を提供する
2. オホーツクの中核医療機関を担う高度急性期・急性期病院として、地域住民医専門及び高度医療を安定供給する
3. 住み慣れた地域で安心して生活できるよう、医療と介護連携の一端を担う
4. 多職種協同し、業務の標準化・効率化を図り、職員が安心して働くことができる職場環境を整える



日赤・道立ネット



LINE WORKS



日赤・道立ネット・・・二病院の「患者情報」を安全に地域に共有

LINE WORKS・院内/地域との「コミュニケーション」の深化

# ハラスメントのない病院を目指した経緯

- 病院組織の主役である職員にとって、安心して働くことができる職場環境は重要。ハラスメントのない病院を目指し、さらには「悪いことはしない」という当たり前のコンプライアンスを維持し、組織としてのガバナンスを強化することも肝要。
- 当院は以前から、医療人として心身ともに健康であること（元気）、チーム医療の推進（仲良く）、仕事にやりがいを感じ成長を実感できること（楽しく）を提唱してきたこともあり、2023年度の職員目標の一つに「**元気で仲良く楽しく働くことができるハラスメントのない病院**」を掲げた。

# ハラスメントのない病院を目指して

- 院長直轄の組織（産業保健管理室）の要綱を見直し、専任の副室長（看護師）が相談を受ける体制を院内に再周知、医療安全担当の副院長、室長（産業医）、事務の担当者と協議後に院長経由で諮問機関（説諭・懲罰等検討委員会）に依頼、同委員会による検証・検討後に院長へ上申する体制とした。
- 院内で幹部職員と検討、懲戒が必要と判断した場合は赤十字本社へ報告・検討を経て懲戒内容を決定する。**基本的なスタンスとして、懲罰を前提とするのではなく、気づき・リセットによる再出発を支援することを心がけている。**

# カスタマーハラスメントに関して

日本  
年3月

(2025

【目

北見赤十字病院  
【対応窓口】

暗  
ため

速する

【行

平日の日中

身

求、

総務課もしくは医事課

区の要

【対

時間外、休日

毅

事業課（日当直事務）

終や外

部専



# おわりに

- 当院の「医師の働き方改革」の現状と臨床検査課の好事例を報告させていただきました。
- また連携推進とハラスメントのない病院を目指した経緯に関しても報告いたしました。
- 課題は山積していますが、一步一步進めています。
- ご参考になりましたら幸いです。

**ご清聴、ありがとうございました。**